

平成 2 8 年 第 9 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：平成 2 8 年 5 月 1 0 日（火）午後 1 時

場 所：教育委員会室

教育長	白井正三郎
教育長職務代理者	上野操
委員	松原秀成
委員	尾上郁子
委員	石井正治

事務局	教育推進課長	柴田靖弘
	学務課長	川勝賢治
	指導室長兼教育研究所長	市川茂
	学校施設担当課長	高橋和彦
	統括指導主事	中山兼一

書記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	岡田隆史
	同 主査	飯田常雄

白井教育長	<p>開 会 時 刻 午後 1 時</p> <p>ただいまから、平成 2 8 年第 9 回教育委員会定例会を開催いたします。 日程第 1、署名委員を決定します。松原委員と尾上委員にお願いします。 続いて、日程第 2、教育関係事務報告にまいります。 はじめに、教育委員会後援名義の使用承認についての報告をお願いします。</p>
川勝学務課長	<p>それでは、教育委員会の後援名義の使用申請が学務課関係で 1 件ございます。使用申請一覧をごらんいただければと思いますが、小学生・中学生の第 5 回薬の正しい使い方ポスター募集ということでございます。これ 5 回目になりまして、平成 2 4 年度からということでございます。申請者は江戸川区薬剤師会ということでございます。次のページに、実施要領の案でございます。テーマとしましては、薬の正しい使い方のポスターということでございます。一般的な画用紙のサイズで募集ということを考えているということでございます。</p> <p>こちらでご承認を得ましたら、後援名義使わせていただいて、その後でございますが、7 月に各学校に薬剤師会が直接持っていくという形で、依頼をさせていただくということでございます。応募期間につきましては、9 月 1 日から 9 月 1 2 日までという形でございますので、夏休みの宿題等で書いて、それを提出するというようなことになってございます。</p> <p>提出してきた作品については、真ん中よりやや下でございますが、審査と発表ということで、ここに書かれている審査委員が審査をして、賞といたしましては、例年どおりでございますが、江戸川区教育委員会賞 3 名でございますけれども、その他の薬剤師会の会長賞等を各部門別に表彰をさせていただくということで、表彰式は一応予定でございますけれども、2 8 年の 1 1 月 2 0 日（日）ということで、タワーホールでの表彰ということでございます。また、教育長におかれましては、表彰式に参加ということで、教育委員会を代表していただいてというようなことで表彰がでございます。</p> <p>以上、簡単ではございますけれども、後援名義が出ておりますので、よろしくご承認いただければと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>この件につきまして、ご質問、ご意見ございましたら、お願いいたします。これ、私が来たときに、ちょうど尾上委員長だったんですね。表彰式でね、</p>

	<p>あのときにさせていただいて。去年は私がしたと思いますが。どのくらい応募があるのですか。</p>
学 務 課 長	<p>去年の実績といたしましては、応募数717名ということになってございます。学校数としましては、小学校24校、中学校8校、計32校ということでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
尾 上 委 員	<p>今、ご説明ありましたけれども、夏休みの宿題で書いて提出するというのも、結構、そのケースはあるんですか。</p>
川勝学務課長	<p>この期間がちょうど7月の中旬あたりに各学校で、基本的に小学校のほうが多うございますけれども、その夏の宿題の一つになっていたりとかというようなことがございます。</p> <p>以上でございます。</p>
上 野 委 員	<p>5回目のようですが、いつもこのテーマは薬の正しい使い方ポスターなんですか、これまで。</p>
学 務 課 長	<p>5回目ということですが、毎回そうでございます。</p>
上 野 委 員	<p>それに対する反応といいますか、効果みたいなものはどういうふうに見ているのですか。</p>
学 務 課 長	<p>これも全校で参加というのが一番望ましいかとは思いますが、今申し上げたとおりの校数でございますけれども、うちのほうの給食保健係というのが薬剤師会と学校のほうの医師会とかに関係の仕事をさせていただいていますが、やはりこれによって、子どもが薬の正しい使い方を勉強する機会になるので、学校のほうもそういったことで積極的に参加いただいているところもあるというふうに聞いております。</p>
尾 上 委 員	<p>見せていただきましたけれども、特に低学年とかはすごくいい勉強になるかなとは思いますがね。薬を飲む順番とかお水をたくさん飲まなきゃいけないとか、飲み合わせはとか、そういうことを自分たちで考えて、ポスター化しているという形ですね。私、思ったのは、薬物のたしかポスターもありま</p>

	<p>したよね。あれはカレンダーか何かになりますよね。これは何かそういう形のものはないのかなと思いますけれども、どうでしょうか。</p>
学 務 課 長	<p>薬物防止に関しましては、薬物乱用防止という観点で、そういったポスターは違う部分でやっています。</p>
石 井 委 員	<p>審査に学校の先生等々関わっておるんですが、教育委員会も関わっているということで、ちなみに、どなたが行かれるんでしょうか。</p>
学 務 課 長	<p>教育委員会といいますと、学校でございます。教育研究会の図工部ですか、そちらのほうの小学校の大杉小学校の先生が昨年度でいえば関わったり、あと、学校保健委員会というのがございまして、その学校保健委員会のメンバーも参加するというような形で審査をされております。その区教研の先生や、一次審査的なことをしまして、その中でまた優秀な部分につきまして、教育委員会のほうにも持ってきていただいて、そこで判断させていただくというようなことでございます。</p>
教 育 長	<p>昨年、トップの賞が教育委員会賞なので、私が決めさせていただきました。。</p>
学 務 課 長	<p>今、教育長がお話になったとおりでございます。</p>
教 育 長	<p>他によろしいでしょうか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
教 育 長	<p>よろしければ、報告を了承させていただきます。</p> <p>続いて、いじめ電話相談についての報告をお願いしたいと思います。</p>
市川指導室長	<p>それでは、いじめ電話相談についてご報告させていただきます。資料をごらんください。</p> <p>平成28年度4月分いじめ電話相談の件数でございます。この4月1日から4月30日分の1カ月、ご相談件数はゼロ件ということになります。</p> <p>説明は、以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p>

	<p>この件に関しまして、質問ご意見ございましたら、お願いいたします。 去年は年間でどのくらいありましたかね。</p>
指 導 室 長	<p>年間電話相談の件数は、12件でございます。特に多かったのが、その中でも8月、12月が3件ずつということで、あと他の月に関しては、大体1、2件がばらついているということでございます。</p>
松 原 委 員	<p>関係がないんですけれども、昨日、ニュースで品川区のことがわかって、今朝、新聞で見た範囲なんですけれども、区内在住の区立学校というふうに書いてありました。いじめ相談とか、よく報告の中で匿名とありますよね。それはもうしょうがないんですけれども、できるだけきめ細かく対応していく必要があるなと思っています。学校も忙しい反面、後回しにしようという事由も結構あると思うので、そうではなくてやはり昨日のような事件はこの区でもあるんだというような意識が、現場の先生方が捉えないとまずいなと思っています。どうぞよろしくお願ひしたいと思います。</p>
指 導 室 長	<p>昨日の件につきましては、まだ、東京都のほうにも確認をとっているんですが、原因など、詳しいことはまだわからない状況だそうです。ですので、そういったことを踏まえて、江戸川区でも同じことが起きないようにということで、各学校には改めて注意喚起を呼びかけていきたいというふうに思います。</p>
教 育 長	<p>他にありますか。</p>
尾 上 委 員	<p>本年度始まりまして、4月ゼロ件ということなんですけれども、この数というのは、少なければいいということではないと思うのです。むしろ、小さな声を本当に届けられる、安心して聞いていただけるという部分であれば、この数は多くても、未然に、今おっしゃったように、いろいろなことが本当に発見ができるという一つの大きなツールになっていくと思います。ぜひこのことを区民の皆さん方とか学校側でもしっかりと徹底する必要があるんじゃないかなと、そんなふうに思っております。よろしくお願ひいたします。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。</p>
上 野 委 員	<p>私も尾上委員と全く同感なんですけれども、具体的に電話をかけてもらう</p>

<p>中山統括指導 主事</p>	<p>ためのPRといたしますか、それはどういうふうな方法になっているんですかね。</p> <p>基本的には、まずリーフレットを研究所のほうで作成いたしまして、いろいろな図書館等も含めて配布をしております。それとあわせて、ホームページなどにアップをいたしまして、電話に関するお問い合わせという、いじめに関するお問い合わせということで、教育研究所がありますということで。それとあわせて、学校や保護者から私どもに直接来たときに関しましては、教員や学校に対してのご相談ということでしたら、それは私どもなんですけれども、お子さんの心の悩みというようなこと自体は教育研究所にご相談いただければということになっております。あわせて、東小岩のほうに本年度から派遣型のスクールカウンセラーが入っておりますので、それもあわせて情報提供させていただいております。</p>
<p>上野委員</p>	<p>受け入れる側もいろいろなさまざまな今、関係する人がそういう点に気を遣って、安心してというか、容易に相談しやすいというのかな、そういう雰囲気をつくる、どんどん増やしていかないと、むしろ私は現実には起きているであろういじめの件数から言うと、少なすぎると思うんですよね。もっと多くなったほど、私はいいと思います。</p> <p>いじめられている本人、それから一番近い保護者、その人たちがまず相談しやすいパイプを、どういうところにつくるかと。学校であったり、こういうところであったり、あるいは地域社会の協力団体だとか、どこでも安心して相談できるような機構が必要ですよね。それから、もう一つ実際もっと予防効果として大切だと思うのは、自分はいじめられていなくてもいじめられていることを知っている人。だけれども、見て見ぬふりせざるを得ないという、そこに一つの拘束があるわけでしょう。</p> <p>だから、それをかからないように、ここならば安心して自分が見ていることを通知ができる、伝達できるというようなことができれば、私は相当、効果的だと思うんですね。そこをもう少しやらないと、根本的な解決はできないのかなという気がしますね。</p>
<p>指導室長</p>	<p>委員おっしゃるように、周りの子どもたちの目というのが非常に重要でございます。特に、先ほどからお話いただいているように、電話相談できるお子さんというのは、ある意味、ほんの一部の話であって、ほとんどの子が実際にいろいろなことをされたとしても、電話相談できるエネルギーを失う可能</p>

	<p>性が高いわけですね。ですから、おっしゃるように、周りの子どもたちも含めて、特に学校教育の中で、いじめは絶対に許さないという雰囲気づくりがいつとか期限決まったことではなくて、もう継続的にやっていくことがとても大事なことだと思います。改めて資料等を学校に配ったりもするんですけども、教員研修であるとか、いろいろな機会にいじめに対してはこれで終わりということはないと思いますので、引き続き、努めてまいりたいなと思います。</p>
教 育 長	お願いしますね。よろしいでしょうか。
	〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	<p>他にないようですので、この報告事項を了承したいと思います。</p> <p>以上をもちまして、平成28年第9回教育委員会定例会を終了します。お疲れさまでございました。</p>
	<p>閉会時刻 午後1時17分</p>